

一般社団法人
地域防災コーディネーター育成機構

案内・概要・関連団体資料



問い合わせ先

一般社団法人地域防災コーディネーター育成機構

代表理事：瀧澤 征宏

166-0012 東京都杉並区和田3-13-9

自宅TEL & fax: 03-3380-0826

携帯：090-7237-2902

メール：yukinet1018@yahoo.co.jp

メール：yukinet1018@gmail.com

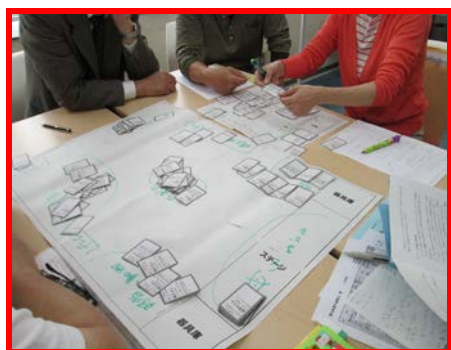
1、地域防災コーディネーター育成講座

「地域防災コーディネーター」認証取得講座 すぎなみ地域大学講座開講予定

公開講座 11月24日(土) 10:00~ 12:00	公開講座(無料) ・セッション杉並「視聴覚室」 ・講演：渥美公秀(大阪大学教授) ・テーマ：「防災といわない防災」	「阪神・淡路大震災」を被災者として経験以降「災害ボランティア」のあり方、地域の「防災訓練」のあり方に一石を投じ、「イツモ通り」の生活の中で防災を考える、を提唱
第1回 12月1日(土) 10:00~ 12:00	・オリエンテーション 「減災教育基礎知識講座」	・我が国の「防災行政の現状」 ・3・11以降 ・気候変動に伴う「新しい自然災害」 ・消防・防災資器材の名称と用途
第2回 12月8日(土) 10:00~ 12:00	「いまからできる暮らしの中の防災」 (高齢者向け教育支援プログラム)	“生き抜く知恵”とは・・・ ・自宅の「安全確保」の大切さ ・外出先の危険ヶ所を知る
第3回 12月15日(土) 10:00~ 12:00	DIG=防災図上ゲーム講座」演習 (地図から見える町の強弱)	高円寺北2/3・南3/4町目を知る ・防災視点で町の“強さ”“弱さ”を知る ・“弱”を補い“強さ”を共有する
第4回 12月22日(土) 10:00~ 12:00	「防災まち歩き講座」実習 (実踏することで体感する防災) *スマホ「すぎナビ」体験	高円寺北2/3・南3/4町目を観察する ・町の危険ヶ所をチェック ・町の防災資器材配置を知る 意外に知らない町の弱点を共有
第5回 1月12日(土) 10:00~ 12:00	「デジタル防災情報活用講座」演習 1、パソコン対応すぎナビ登録編 2、スマホ対応すぎナビ登録編	1、「すぎナビ」の概要の理解 2、災害時避難所・避難路検索 3、災害被害映像情報の発信 4、地域活動の活用(町会活動用)
第6回 1月19日(土) 10:00~ 12:00	HUG=避難所運営ゲーム講座」演習 “オリジナル杉並区版” 学校震災救援所標準マニュアル対応型 ぜひチャレンジして下さい。	学校震災救援所訓練では必須アイテム ・初動編を徹底学習します。 ・対応力・協働力が求められます。 ・参加者の意識共有が高まります。
第7回 1月26日(土) 10:00~ 12:00	「地域防災コーディネーター」 (グループワーク) 地元でどのように活動するのか、 何から始めるのか、意見交換します。	1. 講座受講の振り返り 2. 地域での役割割り 3. 今後の活動(予定) 防災課事務局「コーディネーター運営連絡会」 についてご説明します。

「災害は忘れる」ものです。東日本大震災から7年を経過し、熊本地震から2年も経ちますと東京人の記憶が薄れるのは致し方ありません。だからこそ、いつでも・どこでも「防災・減災」を学習できる機会を提供していかなければなりません。

わたしたちの「防災教育支援プログラム」は、減災行動に至る“気づきを促す”心の防災教育(ソフト型防災教育)です。災害を学び、災害に備える「減災という考え方」が育てば、命の7割が守られる、といわれています。この教育を広める「地域防災コーディネーター」への期待が高まっています。ご一緒しましょう。



～つながる防災・つなげる減災～1人も見逃さない町を目指して！
「地域防災コーディネーター」の輪を広げよう！

- ・締め切日：11月10日(土)
- ・定員：20名
- ・会場：高円寺「防災会議室」(ゆうゆう高円寺南館4階)
- ・受講料：7回連続3,500円
- ・申し込み：杉並区区民生活部地域課(すぎなみ地域大学担当)
- ・電話：03-3312-2361

2、出前講座、個別講演会、ワークショッププログラム

【生涯学習型防災教育支援プログラム】

- 1、防災教育「基礎編」支援プログラム
- 2、子育て世代向け教育支援プログラム「親子ゲームお部屋のレイアウトまちがい探し」
- 3、中学・高校生向け教育支援プログラム「助けられる側から助ける側に」
- 4、集合住宅向け教育支援プログラム「最良・最強の“防災インフラ”がご近所力」
- 5、地域団体向け教育支援プログラム「“孤独死”を防止するご近所力の再生」
- 6、高齢者向け教育支援プログラム「今からできる暮らしの中の防災」
- 7、災害時要配慮者対策プログラム「一人も見逃さない町を目指して」
- 8、まち歩き教育支援プログラム「イザ！災害に遭遇した際の身の処置方基礎知識」

【講座：講演会、勉強会、ワークショップ他】

- 1、DIG（災害図上演習）教習（ご依頼に応じた住宅地図を使って）
- 2、HUG（避難所運営ゲーム）杉並区「運営管理標準マニュアル対応」教習
- 3、地域防災マップ作成教習（ご依頼に応じた地域防災マップ）
- 4、地域防災まち歩き教習（ご依頼に応じた実踏調査・コース選定・運営）
- 5、デジタル防災情報活用教習「すぎナビ」「災害伝言ダイヤル171」活用
- 6、「減災・ふれあいウォークラリー」企画・運営
- 7、「親子で防災キャンプ」企画・運営

*「出前講座」は、子育てNPO、障害者支援団体、高齢者支援団体、学校・幼稚園・保育園
事業社、町会、親睦団体などどのような団体でもお受けいたします。

*運営時間は、約2時間（要望に応じ時間短縮可能）

*予算・費用は、ご相談に応じます。

3、地域防災コーディネーター育成機構沿革

I：発足前史

☆平成6年(1992年)東京国際消防会議・東京国際消防防災展(ファイセフティ・フロンティア94)
「FF94」総合運営プロデュースを受託(東急AGC・電通・博報堂三社コンペで勝利)

日本初の世界消防・防災関係機関の国際会議と総合技術展示会

平成3年より「基本構想」「基本計画」「実施計画」3年半携わる

☆平成21年6月29日 内閣府認定：防災危機管理教育協会「防災危機管理者」認証

☆和田自治協力会 防火防災部長として(平成20年～25年)

杉並区立和田小学校「震災救援所」総合訓練の企画・構成・団体調整プロデュース

平成21年10月14日 救護支援部長 行政指導型の訓練体験

平成22年11月14日 事務局長として自主企画 12の防災資機材活用プログラム

平成23年9月4日 同じく 10の防災資機材活用プログラム

平成24年9月9日 同じく(防災図上演習・講演会) 運営・教習

平成25年9月1日 同じく 14の防災資機材活用プログラム

平成26年9月13日(土曜授業・児童引渡し訓練併催)民生委員として参画

☆町会防火総合訓練企画・協力団体調整・各種申請・実施運営

平成24年7月7日 夏季防火総合訓練(スタンドパイプ、D級ポンプ、大型消火器)

平成24年12月9日 冬季防火総合訓練(同じく)

☆杉並消防団、杉並警察署訓練協力

平成24年9月29日 24年度杉並区内消防団合同点検参加(C級ポンプ隊長として)

杉並消防団9分団、荻窪消防団 分団の各訓練に和田自治協力会
として参加、家屋火災消火訓練、人命救出救助訓練に参加

平成25年5月28日 杉並3警察・中野2警察署合同災害時救出・救護訓練参加

区境発災時の協力関係、部隊運用訓練に参加、隣接町会として
区民参加、人命救助救出訓練に参加

平成27年2月14日 阿佐ヶ谷北地区夜間避難訓練 視察・同行訓練参加

東京都内初の「夜間避難訓練」の実施。阿佐ヶ谷北地区は区内で「火
災危険度」の最も高い、と予測されている地域であることを想定

した避難訓練であった。多くの教訓を得た訓練であった。

☆地域区民センター「防災フォーラム」パネリスト・企画構成

平成25年9月7日 荻窪地域区民センター「防災フォーラム2013」(西荻共催)

「大震災！その時ご近所同士はどう助け合うのか？」 パネラーとして参加

平成25年2月8日 高円寺地域区民センター「防災フォーラム2014」

「杉並大震災！その時貴方は～自助・共助・近助を考える」 企画構成運営

平成25年3月16日 阿佐ヶ谷地域区民センター「防災フォーラム」

「火災対策に特化した地域減災とまちづくり」 一般参加

「もくみつ会」への参加・活動（平成25年4月より）

「もくみつ会」とは、

2011年3月11日東日本大震災を体験し、建築家という「ものづくり」の立場を検証し、東京建築士会杉並支部所属の建築家を中心に防災に関心のある個人・団体を加え、地元でできる社会貢献を模索してきた。

結果、杉並区の木造住宅密集地域「木密」として東京都から危険度5と診断された高円寺・阿佐ヶ谷地域の問題点を整理し、調査・研究を重ね、杉並区の「防災まちづくり」施策として行政各機関に提言すると共に「防災・減災」意識の地域住民への啓発啓蒙を行っていく団体を目指すことにした。

主な目的：杉並区木造住宅密集地域等の防災・減災を考えたまちづくりの調査・研究

活動予定

杉並区の防災まちづくりに関する調査・研究

杉並区の住民への防災に対する意識啓発活動

行政・各機関等への提言

その他、上記に関する活動

これまでの「防災まち歩き」

阿佐ヶ谷南一丁目～二丁目

方南町～和泉一丁目・四丁目

高円寺南二丁目～南三丁目

荻窪駅～上荻一丁目・天沼三丁目・二丁目

これまでの活動

「街として考える災害時の医療」 講演会・シンポジウム

大手町周辺、新宿周辺、荻窪周辺「災害医療拠点の維持継続訓練」の報告

第一回：杉並公会堂

杉並区の災害時医療機関「荻窪病院」と隣接「中大杉並高校」との連携提案

第二回：中野サンプラザ

上記の連携は「杉並区」が介し「三者の災害時連携協定」となり、公式発表

*杉並区和田に移転してきた「佼成病院」と「佼成学園」との連携を促しているところである。

「防災まちづくり」アイデアコンテスト企画検討

「HUG」（避難所運営ゲーム）採用救援所訓練の報告会・検討会

「DIG」（防災図上演習）採用救援所訓練の報告・検討会

4、地域防災コーディネーター活動経歴

平成 25 年 6 月 12 日 「車座・もくみつ会協働事業」杉並区産業商工会館（30 名）
DIG（防災図上演習・ワークショップ）企画・構成・ファシリテーター
阿佐ヶ谷南 1、2 丁目の防災上の課題抽出、取り組むべき課題発表
車座 7 名、もくみつ会 10 名、区担当 5 名、社教センター 3 名、杉並警察他 5 名

平成 26 年 1 月 19 日 杉並区生活クラブ運動グループ あんさんぶる荻窪（50 名）
HUG（避難所運営ゲーム）教習・防災講演
発災後、避難者の学校避難所受け入れのための「机上訓練」ですが、時間、季節、天候などの条件が「最悪」の場合の受け入れ対応を学習しました。

平成 26 年 2 月 1 日 杉並区立社会教育センター・高円寺地域区民センター協議会協働
～イザ！という時に役に立つ なみすけと一緒に防災さんぽ～ （301 名）
セシオン杉並スタート環七東西コースで高円寺地域をまち歩きする
「減災・ふれあいウォークラリー」総合プロデュース・実行委員長
*「もく密」「狭あい道路」という消防活動困難区域に指定された「高円寺地区」を住民と共に“防災まち歩き”をすることで、まちの“危険性”を体感していただき、減災に繋げる「気付き」を促す誰でも楽しむウォークラリーを実施。障害者、子育て世帯の家族ずれの参加が多く大成功。

平成 26 年 2 月 13 日 文部科学省「公民館を中心とした社会教育活性化支援プログラム」
～地域の防災拠点形成支援～チーム「減災」すぎなみプロジェクト
テーマ：自ら歩き自ら気付く「減災・ふれあいオリエンテーリング」
採択成果発表会 プレゼンテーター
オリンピック記念青少年スポーツセンター

平成 26 年 7 月 1 日 防災教育支援プログラム「防災 ノアの箱舟」
DVD／ガイドブック 企画構成

平成 26 年 7 月 16 日 杉並区産業商工会館
もくみつ地域の危険度解消法のヒント～地域ぐるみで考える～ （45 名）
講演&ワークショップ
呼びかけ：瀧澤 征宏 山本あけみ（杉並区議）
講師：NPO法人 耐震総合安全機構（JASO）
木造住宅密集地域耐震化研究会 河野 進氏
参加者：建築士 14 名 区担当 7 名 区議 9 名 区民 13 名 コンサル 1 名

平成 26 年 11 月 29 日 高円寺地域区民センター協議会、馬橋地区町会連合会、
杉並区立社会教育センター協働事業
～さあ！！はじめよう！「減災に備える」第一歩～（参加者・スタッフ計 60 名）
「馬橋地区 減災・ふれあいウォークラリー」総合プロデュース
＊東京都が「不燃化特区」と指定した馬橋地区を歩いて学ぶ地域の消防活動困難
区域の特性を体感するウォークラリー。梅里中央公園スタートの東西 2 コース
をまち歩きし、ゴールの杉六小学校震災救援所訓練と連動して開催

平成 26 年 12 月 6 日 和泉減災・防災を目指せ ご近所力の底上げ大作戦！！
～今からできること、すべきことをみんなで語り合おう！！～
新泉小学校 (12 名)
「減災・ふれあいウォークラリー」から学ぶ・・・・・・講演
これまでの災害で「ご近所力」がどれほど大きな力を発揮したのか事例、映像
で説明、グループワークで語り合い発表。

平成 27 年 1 月 24 日 和泉減災・防災を目指せ ご近所力の底上げ大作戦！！
～今からできること、すべきことをみんなで語り合おう！！～
専大付属高等学校 (40 名)
「減災・ふれあいウォークラリー」から学ぶ・・・・・・講演
和泉地域の二つの商店会と 4 つの町会、障害者作業所、民生委員
の参加を得て実施。高校生生徒会役員 10 名全員が参加していただいたので、
地域とのつながりをどう作るのか、地元に戻ったら何をしたら良いのか、
世代を超えた会話から、沢山のアイデアが発表された。

平成 27 年 2 月 14 日 阿佐ヶ谷中学校 土曜授業「防災講演会」 (300 名)
～「遠水は近火を救わず」その時、その場で どう行動するのか～
「釜石の奇跡」という事例を基に地域で中学生の役割は極めれた高い、という
ことに加え、阿佐ヶ谷地区の特性として学校こそが「最大・最強の防災拠点」
であり、帰宅困難者、高齢者、子育て世代の避難誘導は中学生の役割である
ことを伝えた。後日、生徒からの「感想文」が校長からコピーされて送られ、
「釜石の奇跡」の話は心に残る大きな反響であったようである。

平成 27 年 2 月 26 日 和田青少年育成委員会 委員研修会 (23 名)
～「一人も見逃さない・・・安心なまちづくりを目指して～」
「減災・ふれあいウォークラリー」DVD鑑賞を受けて、これまで起きた
記憶に残る大震災で「人命救助」された 4 事例を映像と資料で講演。
講演後、グループワーク「一人も見逃さない町になるため」に議論をした。
（災害死）のレクチャーでは、災害の恐ろしさを改めて確認できた、との感想。

平成 27 年 3 月 3 日 和田堀地区民生委員児童委員協議会 地区外研修 (28 名)
神奈川県防災総合センター視察を兼ねて、バス移動中
「減災・ふれあいウォークラリー」DVD鑑賞
二年前に訪問した東日本大震災被災地宮城県南三陸町の「大津波被害」の写真
を改めて再確認し、災害を学習し、事前に「備える」ことの大切さを学んでいただいた。
鑑賞後「防災クイズ」10 問を出し、答えが正しい方に「防災グッズ」プレゼント。「楽
しく学ぶ」ということの大切さを改めて感じた

平成 27 年 3 月 19 日 文部科学省「公民館を中心とした社会教育活性化支援プログラム」
～地域の防災拠点形成支援～ 文部科学省生涯学習政策局会議室
平成 25 年 2 月 1 日実施の「減災・ふれあいウォークラリー」
記録教材用DVDの配布・活用によって区内にどのように広がっているの
かを「成果」として発表した。
成果発表プレゼンター

平成 27 年 6 月 2 日 杉並警察・中野警察合同夜間避難訓練
会場：立正佼成会法輪閣地下駐車場
協力：高円寺北町会連合会、和田一丁目町会、和田自治町会
概要：夜間、停電した条件で、倒壊家屋から被災者の安否確認と救出・救助
活動する場合の注意すべきこと、心得ておくことが体験しながら学習
する機会としました。
注意事項：被災者が、瓦礫に長時間腕・足を挟まれている状態で注意無く被
災者を救出すると、血液に「毒素」が一気に回り、急死する「クラッシュシン
ドローム」という症状を学習

平成 27 年 10 月 4 日 楽しく学ぶ「親子で防災キャンプ」
共催：高円寺地域区民センター協議会・杉並区教育委員会
会場：セシオン杉並～防災まち歩き～梅里公園にて防災食試食
対象：子育て世帯（15 家族 40 名参加）
目的：①まち歩きを通じた通園・通学路の危険個所の確認
②最新の「災害食」を試食体験し、災害備蓄の大切を共有

平成 27 年 11 月 29 日 西荻窪のマンション防災講演会・勉強会
主催：藤和シティホームズ西荻窪駅前管理組合
会場：信愛書店（ENGAWA）
参加者：居住者 30 名
目的：①自主防災組織の必要性
②地域連携の必要性

平成 28 年 3 月 13 日 永福和泉地域区民センター協議会 防災まち歩き&マップづくり同行
主催：永福和泉地域区民センター協議会
協力：杉並区社会福祉協議会 ボランティアセンター
講師：ボランティアセンター 所長中島 篤氏
会場：専修大学付属高等学校
まち歩き&マップづくり：専大付属発 4 コース まちの危険箇所、強み確認
ゴール後地図に「強み」「弱み」を意見交換しながら記入、その上でグループ発表。その後防災食体験
この地区の私立高校の存在は大変大きい、と痛感

平成 28 年 3 月 19 日 コーシャハイム杉並和田自治協力会 4 役会の参加
会長、副会長、会計、会計監査当日 5 名の役員幹部の席にオブザーバーとして「28 年度防災訓練」についてアドバイス。
参加者を増やす、特に若い家族の参加をどうしたら可能か、事例を示してアドバイス。まず、「楽しく学ぶ防災勉強会」を計画提案。

平成 28 年 3 月 27 日 社会教育推進全国協議会 東京 23 区支部「学習会」講師
主催：東京 23 区支部
参加者：11 名
会場：永福和泉地域区民センター
テーマ：地域づくりと防災（3・11 を経験して）
杉並区立社会教育センターの中心事業であった「車座委員会」の活動を通し
阪神淡路大震災中心被災地神戸市長田区の訪問視察調査、関東大震災被災地墨田区隅田西町会の訪問視察調査から、多くを学び、「防災」の敷居を低く、日常の関心ごとに近い感覚で「伝え、学習する機会」の大切さを報告。

平成 28 年 4 月 7 日 「地域防災人材育成連続講座」（春編）第一回
主催：地域防災コーディネーター育成機構
会場：すぎなみ協働プラザ 交流コーナー
講師：代表 瀧澤 征宏
テーマ：「孤独死」を防ぐご近所力の再生

平成 28 年 4 月 14 日 「地域防災人材育成連続講座」第二回
テーマ：DIG 教習「災害地図演習」
事例：「阿佐ヶ谷南 1・2 丁目を地図で観察する」
まちを防災視点で「強さ」「弱さ」を点検する
*この地域の安全な「広域避難場所」はどこか？
*この地域の「危険ヶ所」はどこか？
*火災発生時の風向きによる避難路はどの方向が安全か？

平成 28 年 4 月 21 日 「地域防災人材育成連続講座」 第三回

テーマ：HUG 教習「避難所運営ゲーム」

さまざまな事情を抱えた避難者をどのように受け入れるのか？さて

* 災害は「時間・場所・季節を問わない」という現実

* 運営役員が“被災者になっている”こともあり得る

* その時、その場にいる人が運営に関わらざるを得なくなる実態

平成 28 年 4 月 28 日 「地域防災人材育成連続講座」 第四回

テーマ：防災の“歴史”“災害に特徴”“災害に備える基礎知識” 総括

地震以外の自然災害の特徴、近年の災害対応の変化、日米比較

* 竜巻、ゲリラ豪雨、土砂災害、火山噴火などの特徴と対応

* 自衛隊・警察・消防の“統合的運用”の実例

* 身近な防災・消防資器材・設備の名称・用途

* 地域防災コーディネーター認証者 9名

(連続講座受講者のべ 51 名)

平成 28 年 6 月 6 日 和田自治協力会定時総会 基調講演

テーマ：「災害時、一人も見逃さないまちを目指して」

～今からできること、すべきことを共に考えましょう～

事例：命を守ることを優先されている町の活動から学ぶ

①神戸市長田区「真陽防災福祉コミュニティ」

②東京都墨田区「隅田西町会サポート隊」

提案：災害時要配慮者の安否確認・救助支援活動への取り組み

会場：和田区民集会所

参加者 70 人

平成 28 年 7 月 1 日 永福和泉地域区民センター協議会「地域懇談会」基調講演

テーマ：「ある地域訪問活動から“孤独死”から見えること」

～災害時の「ご近所力」に学ぶ～

事例：災害時の「人命救助」は結局ご近所力の実証

①阪神淡路大震災時の「人命救助活動」の 8 割がご近所

②東日本大震災 3,000 人の命を守った釜石の女子中学生

③長野県北部地震「死者ゼロの奇跡」は災害弱者支援マップ

会場：永福和泉地域区民センター

参加者 50 名

平成 28 年 8 月 24 日 NPO 法人さわやかウォーキング夏期研修会 基調講演

テーマ：「イザ！という時のまち歩き“基礎知識”」

～知っておく、備えておく～

まち歩き中に災害に遭遇した際の身の安全処置法を学ぶ

会場：杉並保健所運動室

参加者 68 名

平成 28 年 8 月 28 日 社会教育研究全国集会

第“11 分科会「自治と共同を育む住民主体の学びを創る」

テーマ：「新しい“減災プログラム”策定へのチャレンジ」

杉並区が実施した「減災・ふれあいウォークラリー」の企画から実施
に至る 2 年間の行政・住民との協働プロセスの成果発表

会場：明治大学駿河台 リバティタワー校舎

参加者 23 名

平成 28 年 9 月 2 日 コーシャハイム杉並和田自治会 防災講演会 基調講演

テーマ：「最良・最強の“防災インフラ”はご近所力」

集合住宅の「防災・減災」の特徴的事例・対策の紹介

会場：コーシャハイム杉並和田集会所

参加者 40 名

平成 28 年 10 月 25 日 ケア24西荻「家族介護教室」基調講演&ワークショップ

テーマ：「今からできる暮らしの中の防災」

～高齢者に必要な災害への備えについて

地域のみなさんと一緒に考えてみませんか～

①自宅の部屋の安全確保

②屋外活動中の「備え」 などをご紹介

会場：西荻南区民集会所

参加者 23 名

平成 28 年 10 月 29 日 細田工務店「住まいのなんでも展」防災セミナー

テーマ：「今からできる暮らしの中の防災」基調講演

～私たちに必要な災害への備え～

会場：細田工務店多目的ホール

参加者 5 名

平成 28 年 11 月 2 日 「地域防災人材育成連続講座」（秋編）第一回

会場：セシオン杉並 第 5 集会室

テーマ：防災の“歴史”“災害に特徴”“災害に備える基礎知識”総括

地震以外の自然災害の特徴、近年の災害対応の変化、日米比較

* 竜巻、ゲリラ豪雨、土砂災害、火山噴火などの特徴と対応

* 自衛隊・警察・消防の“統合的運用”の実例

* 身近な防災・消防資器材・設備の名称・用途

平成 28 年 11 月 16 日 「地域防災人材育成連続講座」第二回

テーマ：DIG 教習「災害地図演習」

事例：「阿佐ヶ谷南 1・2 丁目を地図で観察する」

まちを防災視点で「強さ」「弱さ」を点検する

* この地域の安全な「広域避難場所」はどこか？

* この地域の「危険ヶ所」はどこか？

* 火災発生時の風向きによる避難路はどの方向が安全か？

平成 28 年 11 月 23 日 「地域防災人材育成連続講座」 第三回

テーマ：HUG 教習「避難所運営ゲーム」

さまざまな事情を抱えた避難者をどのように受け入れるのか？さて

*災害は「時間・場所・季節を問わない」という現実

*運営役員が“被災者になっている”こともあり得る

*その時、その場にいる人が運営に関わらざるを得なくなる実態

平成 28 年 11 月 30 日 「地域防災人材育成連続講座」 第四回

テーマ：「孤独死」を防ぐご近所力の再生

*地域防災コーディネーター認証者 10名

(連続講座受講者のべ55名)

平成 28 年 11 月 2 日 「和田のまち安全調べ隊」事前授業(6年生全クラス)

テーマ「和田のまちを知ってるか?!」

①昔は台風の度に冠水した地域があった(ゲリラ豪雨が心配)

②和田のまちは、意外に「坂道」が多い(災害時に避難を困難にする)

③和田のまちは、「木造住宅密集地域」(大きな火災の時延焼の恐れ)

④街には「ブロック塀」などの倒壊の恐れのある箇所がある

⑤街には「消防防災資器材」が配置されて「標識」がある

この情報を下に、実際に街を観察し、「タブレットパソコン」に写真を取りきみ、「通学路の危険ヶ所」を印「安全マップ」をつくる事前授業

会場：和田小学校 ハッピールーム

参加者 70 名

平成 28 年 11 月 17 日 和田青少年育成委員会 委員研修 教習

テーマ：HUG 教習「押し寄せる避難者をどう受け入れるのか？」

～その時、あなたがその立場になったら、どう対応しますか～

会場：和田区民集会所

HUG演習は、想定以上の方々が避難所の押し寄せてきた場合の対応を考えて頂くシュミレーションゲームです。

季節、気候、時間を問わず襲われる災害時の避難所開設、避難者の受け入れを「その時、その場にいる人」が対応しなければなりません。

多くの学びと教訓が得られたのではないのでしょうか？

参加者 25名

平成 28 年 11 月 27 日 すぎなみチャリティフェア 2016 (すぎチャリ)

はじめて出店しましたが、楽しい時間をいただきました。

親子で身近に「防災・減災」を意識していただく試みです。

①「部屋のレイアウトまちがい探し」チャレンジ

シルバニアファミリー家具キットを使って、大型家具のレイアウトの見直し、家具転倒防止の必要性をお伝えしました。

②「知っててよかった、防災クイズ」チャレンジ

10問の質問の7つ以上正解ならあなたは大丈夫!! 参加者50名

平成 28 年 11 月 29 日 ケア24梅里・和田合同地域ケア会議 基調講演&ワークショップ

テーマ：「今からできる暮らしの中の防災」

～高齢者に必要な災害への備えについて

地域のみなさんと一緒に考えてみませんか～

- ①自宅の部屋の安全確保
- ②屋外活動中の「備え」 などをご紹介
- ③グループワーク「地域の繋がりをどのようにつくるか」

会場：セッション杉並 視聴覚室

参加者 38名

平成 28 年 12 月 8 日 ゆうゆう大宮前館 防災講演会 基調講演&ワークショップ

テーマ：「今からできる暮らしの中の防災」

～高齢者に必要な災害への備えについて

地域のみなさんと一緒に考えてみませんか～

- ①自宅の部屋の安全確保
- ②屋外活動中の「備え」 などをご紹介
- ③グループワーク「地域の繋がりをどのようにつくるか」

会場：ゆうゆう大宮前館 2・3集会室

参加者 32名

平成 29 年 2 月 5 日 学びを拓く持続可能な社会「東京コンファレンス」(文科省委託事業)

主催：東京大学大学院教育科学科

第二分科会「防災を通じたコミュニティ形成のススメ」

基調講演「防災とはいわない防災」大阪大学 渥美公秀教授

パネラー「黄色いしるし作戦」(文京区)

NPO法人 街In g本郷代表 長谷川 大氏

*黄色の「安否確認」の旗を「防災キット」として開発し、災害時の「安否確認」の効率化を図り、町会を巻き込んで配布した事例
パネラー「減災・ふれあいウォークラリー」(杉並区)

地域防災コーディネーター育成機構 代表 瀧澤 征宏

*世代・障害の有無を問わない全く新しい「防災訓練」として
「楽しく学ぶ」という試みの事例発表を行った。

会場：東京大学本郷キャンパス 工学部 11 号館

平成 29 年 2 月 28 日 杉の樹大学 第 30 回講座 「域の防災について」講演

テーマ：「今からできる暮らしの中の防災」

～高齢者に必要な災害への備えについて

地域のみなさんと一緒に考えてみませんか～

- ①自宅の部屋の安全確保
- ②屋外活動中の「備え」 などをご紹介
- ③グループワーク「地域の繋がりをどのようにつくるか」

会場：高井戸 高齢者生活支援センター

参加者 32名

平成 29 年 3 月 12 日 まちづくり博覧会 2017 ブース出展 PR

テーマ：「楽しく学ぶ防災・減災」

玩具を使った（シルバニアファミリー）

①親子で部屋の「レイアウト間違い探し」チャレンジ

災害の「身の処し方」が命を守る

②親子で「防災クイズ」チャレンジ

平成 29 年 3 月 22 日 高円寺地域区民センター協議会 防災講座基調講演・ワークショップ

テーマ：「楽しく学び、知って納得、私たちの災害への備え」

～高齢者に必要な災害への備えについて

地域のみなさんと一緒に考えてみませんか～

①自宅の部屋の安全確保

②屋外活動中の「備え」 などをご紹介

③グループワーク「地域の繋がりをどのようにつくるか」

会場：セシオン杉並 視聴覚室

参加者 28名

平成 29 年 3 月 24 日 ケア 24 方南・堀ノ内合同地域ケア会議 基調講演・ワークショップ

テーマ：「私たちに必要な災害への備え」

～地域のみなさんと一緒に考えてみませんか～

①自宅の部屋の安全確保

②屋外活動中の「備え」 などをご紹介

③グループワーク「地域の繋がりをどのようにつくるか」

会場：専修大学付属高等学校

参加者 70名

平成 29 年 5 月 3 日～31 日 「減災教育連続講座」春編開催

第 1 回 5 月 3 日 「防災基礎編」

第 2 回 5 月 17 日 「DIG＝災害図上ゲーム」教習

第 3 回 5 月 24 日 「HUG＝避難所運営ゲーム」教習

第 4 回 5 月 31 日 ①「ご近所力の再生に向けて」

②「すぎナビ」「Web171」教習

会場：セシオン第 1 集会室

参加者 5名

平成 29 年 5 月 20 日 杉並区議会無所属区民派区政報告会 防災講演会

テーマ：「災害にあなたはどう備える」

会場：タウンセブン 8 階多目的ホール

参加者 40名

首都直下地震が予測される中、日々の生活の中で

これまでの大災害から得られる事例・教訓を学び

「災害を学び、災害に備える」減災という考え方が

如何に大切かお伝えしました。

平成 29 年 6 月 17 日 「防災・消防フェスタ in 旧神泉小」視察・参加

3 月 24 日に開催された「ケア 24 方南・堀ノ内合同ケア会議」で、「地域の防災訓練に何故住民が参加しないのか、それは“面白くないからです”、まず多くの参加を得られるには、楽しい企画を取り入れることです。課題は、多くの方がまず集い、顔が見える関係を創ることが目標ではないでしょうか」とお伝えした事が見事に実現しました。当日は、過去最高の参加者が来られました。

参加者 200 名

平成 29 年 7 月 1 日 「デジタル防災情報活用講座」

育成機構の新講座としてスタートした「すぎナビ」操作「Web171」の活用を主とした講座です。公式の「人材育成講座」でデモンストレーションしましたが特に時間を十分取った個別指導が必要な講座でしたので、少人数講座になりましたが、効果の高い、実践的防災対応アイテムになることは間違いありません。

参加者 5 名

平成 29 年 9 月 8 日 ゆうゆう和田館避難訓練併催「防災講演会」

毎年行われているゆうゆう和田館での避難訓練の併催事業前段の「防災講演」を承りました。大半の参加者が高齢者ですので、「暮らしの中の防災」についてお話しさせていただきました。

1 部：映像鑑賞

- ①兵庫県耐震工学研究センター「震度 7 リビング激震試験映像」
- ②内閣府「首都直下地震シュミレーション映像」

2 部：「暮らしの中の防災」講演

- ①自宅の部屋の「安全確保」いのちの 7 割が守られる
- ②外出時の「町の危険ヶ所」を知っておくことが大切

参加者 60 名

平成 29 年 9 月 16 日 セシオン杉並「こどもフェア 2017」

“セシオン de 親子ポーサイ”

高円寺地域区民センター協議会の 4 大イベントの一つ「こどもフェア」に出店しました。当日は本当に多くの方とご家族が来られました。私どもは小さな会場でしたが、用意したクイズ等チャレンジ参加者のお土産が足りなくなりました。

参加者 160 名

平成 29 年 10 月 9 日 お寺 de 親子ボ－サイ 和田商店会「こども商店会」併催事業

①「部屋のレイアウトのまちがい探し」チャレンジ

②「知っててよかった、防災クイズ」チャレンジ

会場：和田帝釈天会議室

時間：13：00～14：00

参加者：5 家族 12 名

平成 29 年 10 月 17 日 ケア24善福寺、上荻、西荻「地域合同ケア会議」学習会

「一人も見逃さない町」を目指して」講演・ワークショップ

＝今からできること、すべきことを考えましょう＝

会場：勤労者福祉会館（西荻地域区民センター）

時間：13：00～15：00

参加者：30 名

平成 29 年 10 月 21 日 佼成病院「災害時医療訓練」視察

会場：佼成病院 エントランス、救急治療室、

佼成病院は、杉並区が指定している「災害時拠点病院」として荻窪病院と共に災害時の「重症者・重篤者」対応病院として期待されている。

「軽傷者」から「重症者」「死者」まで治療処置判断する「トリアージ訓練」を実施していました。佼成病院看護学校生徒が、重傷・軽症被災者役、搬送ボランティア役になっていました。

災害時医療は「助けられる人を助ける」（野戦病院）原則ですから、少ない医療従事者が「治療に専念できる環境」が大切です。

まず、「災害時拠点病院」は「重症者・重篤者」専門に対応する病院であることを知っておきましょう。

平成 29 年 10 月 28 日 杉並区総合防災訓練視察（高井戸おおぞら公園）

毎年行われている総合防災訓練は、消防防災行政全機関が参加する大規模な訓練ですが、倒壊家屋から救出救護する「消防隊」と「警察隊」の同時訓練では、訓練練度・装備品に大きな差があることが観て取れました。

「警察隊」は自ら身を守る「ひざ当て」「肘当て」などの防具もつけず、長靴は“ピカピカ”でチェーンソー操作は観ていられないほど未熟でした。

（エンジンがかけられない！！）

「消防隊」は各班の役割が明確で、大きな声で一つ一つ指差し安全確認し、スピード連携救助が実に素晴らしいものでした。

平成 29 年 11 月 16 日 杉並区立第一小学校震災救援所運営連絡会役員「HUG」教習会

①首都直下地震シュミレーション映像（内閣府制作）

②「震災救援所“立ち上げ”の基礎知識」オリエンテーション

③「HUG」訓練 訓練後、4グループによる発表と意見交換会

「運営管理マニュアル」作成後初の訓練でもあり、戸惑いもあった。

会場：第一小学校「家庭科室」

時間：9：30～12：00 機構サポーター：6 名 参加者 20 名

平成 29 年 12 月 8 日 杉並区立沓掛小学校 PTA 「HUG」体験訓練

- ①首都直下地震シュミレーション映像（内閣府制作）
 - ②「震災救援所“立ち上げ”の基礎知識」オリエンテーション
 - ③「HUG」訓練 訓練後、4 グループによる発表と意見交換会
- 災害時に「PTA も役割があるのではないか」という意識を持った素晴らしいPTA のみなさんでした。

会場：沓掛小学校「多目的ホール」

時間：10：00～12：00

機構サポート：6 名 参加者：28 名

平成 29 年 12 月 13 日 杉の樹大学「防災講座」

テーマ：「1 人も見逃さない町を目指して」講演

- ①首都直下地震シュミレーション映像（内閣府制作）
- ②震度7の「リビング耐震実験」映像（耐震工学研究センター制作）
- ③知られていない「火災原因」

会場：高井戸高齢者活動支援センター（多目的室）

時間：10：00～12：00

参加者：30 名

平成 30 年 1 月 18 日 和田青少年育成委員会 委員研修「DIG」教習会

児童生徒の通学路を含む地域の防災上の「強み」「弱み」を地図を使って問題点・課題点を観察する「防災教育」です。

意外と気付いていない「町の危険ヶ所」を学ぶことができます。

参加者全員で問題点を「共有」できる利点があります。

会場：和田区民集会所2・3集会室一体使用

時間：11：00～12：00（全体会終了後）

参加者：25 名

平成 30 年 1 月 25 日 ケア24清水「地域連絡懇談会」

テーマ：「1 人も見逃さない町を目指して」講演・ワークショップ

- ①首都直下地震シュミレーション映像（内閣府制作）
 - ②震度7の「リビング耐震実験」映像（耐震工学研究センター制作）
- 3つのグループワーク後意見交換しましたが、

講師の事例から「まず、自ら最初に声掛け、挨拶する勇気を持つ」大切さを学びました。

会場：特別養護老人ホーム「正吉苑」内打合せ室

機構サポート：1 名 参加者：18 名

平成 30 年 3 月 2 日 杉並区立第八小学校震災救援所運営連絡会役員「HUG」訓練教習

- ①首都直下地震シュミレーション映像（内閣府制作）
- ②「震災救援所“立ち上げ”の基礎知識」オリエンテーション
- ③「HUG」訓練 訓練後、4グループによる発表と意見交換会

当該学校の地理的悪条件、2年後の統合廃校跡地問題を抱え、どのように受け止め対応するのか多くのご意見が出て、また前向きな提案もあり、多くの「教訓」を共有できた「HUG」訓練でした。

会場：小学校「ハチルーム」

時間：10：30～12：30（役員後の開催）

機構サポート：6名 参加者：40名

平成 30 年 3 月 9 日 旧新泉小学校震災救援所運営連絡会役員会「HUG」訓練教習

- ①首都直下地震シュミレーション映像（内閣府制作）
- ②「震災救援所“立ち上げ”の基礎知識」オリエンテーション
- ③「HUG」訓練 訓練後、4グループによる発表と意見交換会

地域連携の進んだ地域ですが、統廃合された「救援所」として機能不十分環境の中で如何に避難者対応するのか、大変大きな課題を抱えています。隣接私立高校との連携・役割分担を早期に協定化して欲しい、と思います。様々な事情を抱えた避難者を「救援所機能分化」することで、不安材料をいくらかでも軽減出来たら、と考える。

会場：専大付属高校「多目的ホール」

時間：15：00～17：00

機構サポート 4名 参加者：30名

平成 30 年 3 月 11 日 杉並区公式行事「3・11を忘れない」連携イベント

テーマ：「楽しく学ぶ 生き抜く減災の知恵」

高円寺地域区民センター協議会 30周年記念事業として参画

- ①「お部屋のレイアウトまちがい探し」コーナー運営
 - ②「すぎナビ「災害伝言ダイヤル171」コーナー運営
 - ③「減災・ふれあいウォークラリー」DVD 観賞
 - ④災害時の「ポイレット」「消える魔球」「消せる魔法の杖」コーナー運営
- *災害食「タスカルブレッド」「鶏と野菜のトマトスープ」提供

機構サポート：5名 参加者：246名

平成 30 年 4 月 4 日 「一般社団法人地域防災コーディネーター育成機構」発足式

ご来賓：杉並区危機管理室防災課 課長 佐藤秀幸様
杉並区地域課高円寺担当 副参事 大井 進様
すぎなみ協働プラザ 代表理事味香興郎様
杉並区社会福祉協議会 地域支援課長 兵藤正英様
Hボランティアセンター 所長 黒澤

平成 27 年 4 月 1 日「任意団体」としてスタートした「地域防災コーディネーター育成機構」は、以降、町会、青少年育成委員会、ゆうゆう館、ケア24などからのご依頼に誠実に対応し、成果を積み重ねて参りました。「災害を学び、災害に備える“減災”教育」の重要性をお伝えして来ました。これまで地域の「防災訓練」は、限られた方たちの消防資器材を使う「ハード型防災訓練」で明らかな「日常から乖離した特別の行事」になっており住民は“尻込みする”ものでした。

防災といえども、住民参加を促すには、「楽しくなければ」誰も集まりません。

日常の生活に近い条件の中で、楽しい防災訓練を企画し、多くの方々がお互い顔が見える関係ができれば、「防災訓練の目的の8割は達成された」と言えます。地域の防災力は「顔が見える関係」がすべてです。

わたしたちは、～つながる防災 つながる減災～

一人も見逃さない町を目指して

「減災教育実践者＝地域防災コーディネーター」を区内に輩出していく事を目的にしており、大災害時に隣接学校同士が連携できる「中規模地域防災連携」の必要性を伝え、推進していくことを目標にしています。